



特別臨時号



おだかぐらしコンシェルジュに着任して約3ヶ月が経ち、たくさんの方々とお会いし、とても有意義な時間を過ごしています。
小高での活躍者・先輩移住者と話すなかで、「ものづくり」にこだわりを持っている方や、私と同じくカメラをライフワークとする方と出会ったので、その方々をご紹介します！

小高で活躍する人をインタビュー★



No.1

島拔 里美さん 小高区在住 / 浪江町出身

2014年 NPO法人「浮船の里」の機織り体験に
どっぷりはまり、養蚕について勉強を始める
2015年 NPO法人「浮船の里」の理事になる
2022年 “わたしの絲の市”を主催
現在 主婦 / MIMORONE運営

Q. わたしの絲の市は今回で2回目の開催ですが、
イベント企画の思いを教えてください。

糸を素材から作り、商品の製造過程をすべて説明できるなど、
こだわりを持ってやっている方に出展していただいています。
自分たちの手を使い、0から10までやっている方だと、
お客様とお話する時も素材・こだわりについて話せます。
値段だけを見て、買うか決めるのではなく、シルクなど
純度の高い商品を知っていただいたり、糸づくりなどを体験してもらいたいです。

小高産の絹糸



Q. 第2回目が終わり、いかがですか？

天気もよくて、穏やかな雰囲気の中、無事に終われてよかったです！
来場者アンケートでは「空間が落ち着いていて、素敵な内容だった」
「楽しかったからまたやってほしい」と言葉をいただきとても嬉しかったです。
こうした声がかこれからの私の励みになります！



MIMORONE(島拔さんが制作した商品)も
こちらのサイトからぜひご覧ください♪



“わたしの絲の市”が生産地・生産者の分かるものを
ひとつでも身につけるなど、皆さんが衣食に興味を持つ
きっかけになれば嬉しいです！
2024年も開催予定なので、地元産の食材を使い、
こだわりが詰まったフードを作っている方を増やしたいと
思っています。

出展者さんの技術・繋がりが深まるよう、出展者さん向けに
「わた収穫・藍染体験」「空caféへの遠足」などを検討中です！





No.2 安部 敬子さん 小高区在住 / 小高区出身

2017年 仕事環境を理由に、東京から小高区にUターン
現在 主婦 / カメラマン「feeling photo」(活動名)

【撮影ジャンル】

ロケーションファミリー・七五三・プロフィール撮影、物撮り



安部さんの
Instagramは
こちらから♪



Q. カメラマンになろうと思ったきっかけは？

2023年1月に<icoi-いこい->が主催する、女性の好きな・得意なことを小さく仕事にしよう！がコンセプトの「わたしのcoしごと 福の島」の無料講座に参加しました。得意なことって何かかなと思った時に写真を撮ることが思い浮かび、仕事にしたいと思いました。

Q. カメラマンという仕事の魅力を教えてください。

綺麗な写真が撮れるとテンションがあがり、撮った写真をお客様に喜んでもらえることです。スタジオ撮影だとポーズ・パターンが決まりがちですが、公園などでの出張撮影ならご家族の自然な様子やその時にしか撮れない瞬間を撮影できます。

自分も子どもが生まれてから「成長が早すぎて、きちんと写真で残しておかないと」という思いが強くなりました。1人目は写真がたくさんあるけれど、兄弟ができるのと2人目・3人目と枚数が少なくなるということもあるので、同じ母親として力になりたい、**人生に寄り添う、専属カメラマン**になりたいと思いました。

安部敬子さんに聞いた
小高の推しスポット！



小高川親水公園

Q. これからやっていきたいことはありますか？

将来的に、家の一室をスタジオにしたいと思っています！



本田のおだか朝さんぽ

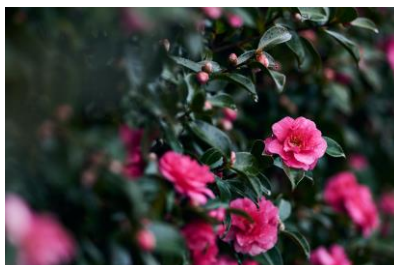
小高区に移住してから毎日「朝散歩」をしています！
何気ない日常や綺麗だなと思ったワンシーンをお届け📷
季節の移り変わりを楽しんでいただければ嬉しいです。



落ち葉じゅうたん



移住後の初雪



雨でしっとり椿

私のSNSはこちら↓



写真・カメラのことは小高区役所 地域振興課・本田までお気軽にどうぞ！

< 編集後記 >

初めてのインタビューということもあり、話を聞きながらメモするのは大変でしたが、ものづくり・写真の話などで盛り上がりました！将来的に写真館をやりたいと思っている話を安部さんにしたら、共同経営しますか？なんてワクワクする話がたくさんできました♪

インタビューをとおして繋がり、お手伝いが必要な時は言ってくださいね！と温かい言葉もいただきました。小高の方の優しさ・懐の深さが心にとてもしみました。(本田 奏)